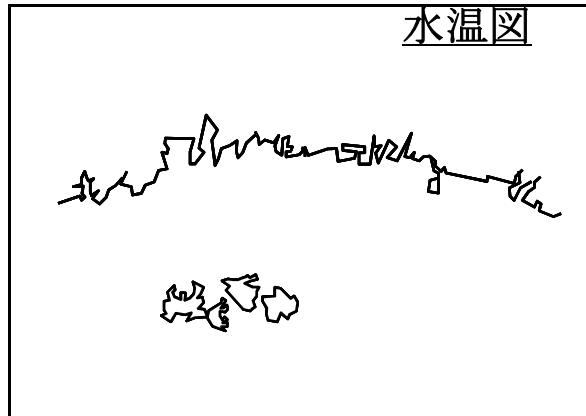


# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 10号)

平成30年 1月16日発行  
 兵庫のみ研究所

地先漁場においては、一部を除き栄養塩の低い状況が続いています。沖合漁場では窒素は3~4  $\mu\text{g at/L}$ で、前回(1/5)調査から更にやや減少しており、漸減傾向となっています。全般に珪藻の発生量は少ない状況にあることから、まとまった降雨による漁場への栄養塩供給に期待したいところです。

(栄養塩、珪藻) 陸水等の影響を受けていた地先の一部漁場において、栄養塩は少し高い値を示した。気象情報によると明日一日、気圧の通過に伴う雨の予報となっており、まとまった降雨が望まれる。珪藻は小型のキートセロスが主に確認されており、発生量に大きな増減はなく全般に少ない状況。沖合漁場では珪藻はほとんど確認されないが、近隣海域(岡山・香川)や地先の栄養塩の低い状況が続いている影響が大きく、栄養塩は漸減傾向となっている。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.1	2.4	1.7	4.1
	リン	0.28	0.36	0.33	0.53
家島・坊勢	窒素	4.6	3.9	4.2	4.9
	リン	0.58	0.53	0.56	0.64

(1/5) (1/16)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年 1月16日調査

